

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

産 業 建 設 調 査 会 記 録

平成28年5月13日（金）
 現地視察後 全員協議会室
 9時00分～12時56分

【委 員】 笹田委員長、飛野副委員長

串崎委員、布施委員、牛尾博美委員、原田委員、牛尾昭委員

【委員外】 足立、岡野、小川、森谷、野藤、岡本、佐々木、渋谷、西村、江角

【議長団】 議長

【執行部】

（産業経済部） 中村産業経済部長、田村産業経済部参事、来原産業経済部企画監、村武産業政策課長、竹中産業振興課長（兼ふるさと寄附推進室長）、佐々木広島市場開拓室長、

川神農林振興課長（併農委事務局長）、佐々本農林振興課副参事、吉田水産振興課長、石田漁港活性化室長、岡本観光交流課長、倉井産業企画係長

（都市建設部） 下垣都市建設部長、河野建設企画課長、吉川建設整備課長、吉田地籍調査課長、坂田維持管理課長、佐々木建築住宅課長、西川建設庶務係長

（金城支所） 吉永金城支所長、畑金城支所産業建設課長

（旭支所） 田村旭支所長、今田旭支所産業建設課長

（弥栄支所） 細川弥栄支所長、後野弥栄支所産業建設課長

（三隅支所） 斎藤三隅支所長、永井三隅支所産業建設課長

【事務局】 鎌原書記

議 題

1. 執行部報告事項

- （1） 平成29年度国県重点要望事項について
- （2） 平成27年度 萩・石見空港利用実績について（産業政策課）
- （3） 浜田港長期構想（素案）について（産業政策課）
- （4） はまだ産業振興機構 活動実績について（産業振興課）
- （5） ふるさと寄附について（ふるさと寄附推進室）
- （6） 広島市場開拓室活動実績について（広島市場開拓室）
- （7） 漁業別水揚げについて（水産振興課）
- （8） 三重県松阪市との“駅鈴協定”の締結について（観光交流課）
- （9） 美又温泉国民保養センターについて（金城支所産業建設課）

(10) 市道路線等の現地視察について(維持管理課)

(11) その他

2. その他

【議事の経過】

[9 時 00 分 開議（東分庁舎前駐車場）]

笹田委員長

おはようございます。

ただいま出席委員は7名で、全員出席ですので、直ちに本日の調査会を開催いたします。

それでは、委員の皆様、本日の調査会の流れ等についてご説明いたします。

お配りした資料のレジメをご覧ください。

本日の調査会では、これから12時頃まで、議題1の(10)市道路線等の現地視察を、資料の後ろに付けております「現地視察行程表」のとおり行い、市役所に戻って、午前10時40分より議会全員協議会室において調査会を再開し、レジメのとおり、現地視察を除く10件について報告・説明を受ける予定です。

以上ですが、委員の方から、何か質問等ありますか。(なし)

書記の方から何かありますか。(なし)

それでは、このまま現地へ向かいますので、よろしく申し上げます。

(4ヶ所現地視察)

[視察終了 10 時 30 分]

[帰庁後、10 時 38 分 再開]

笹田委員長

おはようございます。少し時間が早いようですが産業建設調査会を再開します。再開に先立ち、昨日森谷議員から本日の会議のビデオ撮影許可の申し出がありました。これについては委員会として充分協議する時間ありませんので、許可しないということではよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

ではそういうことではよろしく申し上げます。

次に委員外議員として、本日の議題(2)、(5)、(7)について発言を求められています。浜田市議会委員会条例第45条第2項において「委員会委員でない議員から発言の申し出があった時はその許否を決定する」とあります。よってそれについて協議したいと思っております。ご意見があれば委員からお願いします。

牛尾昭委員

一昨日も森谷議員から委員外議員としての通告が出ていましたが、全協で担保するという処理になりました。森谷議員は多分ご存知ないと思いますが、かつては3つの委員会を同時にやっていました。すると他の委員会の事が分かり難いということで、1日1委員会にして所管委員会以外のことも勉強しようということで、例えば違う委員会の方が傍聴にお出掛けになるというようなことが議会改革の中で決まりました。その上でどうしても常任委員会主義ですから常任委員会のメンバーに任せられないような重要案件についてのみ、全て終わった後で質問が出来るということにして、委員外議員が質問が出来るというのは、字面から言えば出来るんだけど、本当はそういう案件のみ質問出来るということですので、

笹田委員長
布施委員

今回はそれに値しないということで、私は却下すべきだと思います。

その他、委員から何かございますか。

委員外議員の質問内容は分かりませんが、全協で充分発言機会がありますし、その時に対応していただければ充分ではないかと思えます。

笹田委員長

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

ないようなので、先ほど言われたように意見があれば全協で言っていたくということによろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

ではそういうことですので、発言は全員協議会をお願いしたいと思います。この件については以上とします。

それではこの4月の人事異動で昇任や異動のあった皆さまから、一言ずつご挨拶をいただきたいと思えます。レジュメの出席者の上から順にお願いします。

《 以下、異動のあった執行部から挨拶 》

皆さんありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

1. 執行部報告事項

(1) 平成29年度国県重点要望事項について

笹田委員長
産業振興課長
笹田委員長

執行部から説明をお願いします。4番について産業振興課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

では5番について建設企画課長。

建設企画課長
笹田委員長

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

では6番について建設企画課長。

建設企画課長
笹田委員長
牛尾昭委員

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。

三隅側の子落の信号手前までもう道路が出来ているように見受けられます。今年度中と当初は聞いていましたが、素人目にも早く開通するのではないかという期待感を持っています。その辺の見通しについて公表されるのはいつ頃の予定になりますか。

建設企画課長

まだはっきりしていませんが、今情報で聞いているのは7月くらいには様子が大体分かってくるようです。

笹田委員長
布施委員

その他。

開通自体の要望事項はすごく良いと思えますが、それに合わせて高速道の安全安心の部分で、対面交通での事故、中央分離帯や側溝の問題を併せて、三隅・益田道路に限らず開通している一部分でも事故が多発しているのです、それも併せて安心安全のために、工事の延長ではなくそれ

建設企画課長 を含めた要望活動を考えておられるかお聞きします。

建設企画課長 最近そういった事故もたくさん起きています。また新聞等に報道されていますが、色んな対応について、真ん中に壁を作ったり分離させるための案が色々出ている所ですが、そういったことも含めて今から色々、国等の考え方も聞きながら要望していこうと思っています。

笹田委員長 その他。

建設企画課長 笹田委員長 笹田委員長 では7番について建設企画課長。
(以下、資料をもとに説明)
この件について、委員から何かありますか。
(「なし」という声あり)
では8番について農林振興課長。

農林振興課長 笹田委員長 笹田委員長 (以下、資料をもとに説明)
この件について、委員から何かありますか。
(「なし」という声あり)
では9番について農林振興課長。

農林振興課長 笹田委員長 笹田委員長 (以下、資料をもとに説明)
この件について、委員から何かありますか。
(「なし」という声あり)
では10番について建設企画課長。

建設企画課長 笹田委員長 原田委員 (以下、資料をもとに説明)
この件について、委員から何かありますか。
自治区間の20分間構想というのは前から話が出ていますが、なかなか進まないのが実情です。まず20分間でそれぞれの自治区を結ぶという基本的なことの目標は、大体どのくらいを目安に今話を進めているのか、分かればお聞かせください。

建設企画課長 原田委員 早急には進めていますが、何年までといった具体的な目標は掲げていません。

原田委員 ということは、いつ出来るか分からないという状況だと思います。例えば金城・弥栄間も結構やっただけですが、皆さんが一番心配しておられるのが、いつまでに出来るのだろうか全然分からないわけです。ただ県の情勢に任せている状況なので、市からも色々お願いはしていただいていると思いますが、関係各所へは話をしていただくべきではないかと思います。その辺どうでしょうか。

建設企画課長 当然県の限られた予算というか、重点的に目標がありますので、弥栄旭インター線の未改良部分については、一度には出来ないのですが、調整しながら順次進めていただいているところではあります。地元への周知となれば県の情報もしっかり吸収しながら、積極的にお伝えしていけたらと思います。

笹田委員長 建設企画課長 笹田委員長 他に。なければ11番について、建設企画課長。
(以下、資料をもとに説明)
この件について、委員から何かありますか。
(「なし」という声あり)
では12番について建設企画課長。

建設企画課長 (以下、資料をもとに説明)

笹田委員長
原田委員

この件について、委員から何かありますか。

(6)の一般県道今福芸北線久佐小国の改良について。これは相当皆さん方にも力を入れてやっていただき、地元も大変喜んでます。このたびも旧久佐小学校の上の一部をやっていただいて、本当にこれについては喜んでます。ただ、小国の間の一部、ブロックが数年前から道路の縁に置いてある所があります。これは最近邑南町でも事故があったように、そうした恐れがあるからこのようなことがしてあるのではと私は認識していますが、かなり急傾斜で上に石が多い所なので非常に心配ですし、また地元の方からも「一体どうする気なのか」という話を聞いています。これについては、すぐ道路を広くしてくださいということをするわけにいかないと思いますが、調査をきちんとしていただかないと、もし事故があったら大変なことになるのではないかと気がしますので、県へ充分お伝えいただきたいと思います。よろしくお願いします。

建設企画課長

大きいブロックですよ。一応仮の状況かと思っておりますので、場所も確認しながら県へしっかり要望ないし、いつ頃出来るのかを伺っていきたいと思います。

笹田委員長

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

では13番について建設企画課長。

建設企画課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。

牛尾昭委員

初めてこの件について質問します。2、3、4番の関係ですが、年間何度か海岸清掃するのですが、唐鐘川河口がすぐ詰まってしまい、唐鐘が一番大変なんだろうという気がしています。このように並列であるので予算配分がどうなるか分かりませんが、唐鐘川については充分気にしてやっていただかないと、他の河口は広いのでたちまち塞がるようなことはないが、唐鐘についてはその恐れがあるので気にしていただきながら常時やっていただければ良いと思います。よろしくお願いします。

笹田委員長

他に何かありますか。

(「なし」という声あり)

では14番について建設企画課長。

建設企画課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

では15番について建設企画課長。

建設企画課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

では16番について建設企画課長。

建設企画課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

では17番について建設企画課長。

建設企画課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。
(「なし」という声あり)
ではこの件については以上とします。

(2) 平成27年度 萩・石見空港利用実績について

笹田委員長
産業政策課長
笹田委員長
牛尾昭委員

執行部から説明をお願いします。産業政策課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。

昨年かなり惜しい所まで行ったということで、我々所管委員会は今年当然往復萩・石見使います。広報広聴委員会も往復萩・石見使います。浜田市は当然だけど、益田や吉賀町など周辺市町村の利用実績は。全体のデータは出ているけど、例えば益田の動きが鈍いとか、そういうことが分かるような資料がないと全体的に出てきて「ああもう少しだね」と言うのでは、どこを攻めるのか。かつて一般質問で言わせていただいた、修学旅行みんな乗せれば良いじゃないかという話をしましたが、そういった読み込みがこれだけでは出ないんですよ。魚がいるかないか分からない海へ網を投げるようなもので。もう少し正確な分析が出来るような、我々はそのデータをもとに意見が言えるようなものを用意していただきたい。突然言いましたので、次は出来ればそういうものが、出来るのか出来ないのかだけでも今日伺って帰りたいですが、どうですか。

産業政策課長

その点については、萩・石見空港利用促進協議会がありますので、そちらへ資料請求をしてみたいと思います。また航空会社様の方にももし提供可能なら資料をいただきたいと考えています。

布施委員

利用実績と関係してくるのですが、先ほど報告があったサポーター企業数が増加することは大変良いことです。しかしながらサポーターに実績がなければ何の意味もないので、増えた分どういう実績があったのか、登録は増えても利用が少なければ今年度はこれに力を入れていくとか、そういった目標的なものも併せて数字を出していただかないと。ただ絵に描いた餅になってしまうので。サポーターを増やせば良いのではなく利用実績を延ばすということに力を入れていただきたいと思いますが、その辺はどうでしょうか。

産業政策課長

委員のおっしゃることはごもっともです。確かにサポーター企業を増やすことを念頭に我々頑張っていますが、その企業の皆さまに使っていただくことが本当に大切だと考えています。傾向としては、数字は持ち合わせていませんが、昨年度よりサポーター企業様のご利用は増えているものと実感しています。ちなみに27年度については全体で3646人の申請があり、そのうちサポーター企業様が1078名となっています。大体2割か3割の間となっています。今後ともサポート企業様に利用していただけるよう啓発していきたいと思っています。

申崎委員

予算について聞いてみます。3646人という形で、これにより補正金額が950万上乗せといった形だと思います。当初予算が1400万で900万と言えば、かなり大きな上乗せだろうということと、やはり最初の段階の補助金の考え方がどうなのかなという感じがしています。その辺のお考えと、このチラシも一緒でよろしいですか。今見てみました。ずっと見て

いくと一番下に小さな字で「予算に限りがありますので早めの申請を」と書いてあります。ということは今年は補正をしないということになるんですか。その辺の流れはどうでしょうか。

産業政策課長

まず昨年度の補正についてです。これは27年度当初予算の要求時、確かに見込みが甘かったと言われたらそれが事実ではないかと思っています。この補助金について色々啓発しましたので、利用数が増えたと、認知していただいた結果というようにも取れるのではないかと思っています。それと予算に限りがあるとはなっていますが、これについては今年度の補助金額を、例えば65歳未満の方については5000円から4000円、65歳以上の方について8000円から6000円、サポーター企業様についても8000円から6000円、一応減額させていただいて少しでも多くの方に補助金を受けていただくように制度を少し組み替えてはいます。しかしながら仮に予算一杯ということになった場合は、また財政と協議させていただきたいと考えています。

串崎委員

補正予算があるのだらうと認識しました。少し見てみたら今年1900万ぐらいだったでしょうか。なら申請人数は何人で1900万を出されたか、その辺はどうでしょうか。

産業政策課長

人数についてはほぼ3700名ぐらいで予算を組ませていただいています。ほぼ同じ人数です。

串崎委員

分かりました。浜田市としては全体の人数は今年どれくらいを目標に掲げていらっしゃるでしょうか。

産業政策課長

27年度の実績が3646名ということで、これを僅かですが上回る数で予算を組ませていただいています。3700名程度の方に申請していただけるのではないかと考えています。

補助金について捕捉させていただきます。補助金の金額を下げさせていただいたということ、それと今年から対象者を若干変更させていただいています。先ほどのチラシ中断左側に書いてある黄色の部分ですが、これまで往復利用のみに限定していましたが、これからは片道利用についても対象とさせていただこうと思います。それと、浜田市外に在住する大学生・専門学校生の方が利用された場合にも、それを対象とさせていただきます。

笹田委員長

チラシについての捕捉説明がありましたが、これについてご質問等ありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(3) 浜田港長期構想(素案)について

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。産業政策課長。

産業政策課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。

串崎委員

島根県の資料といった形なのであまり何でしょうか、15ページに、第2回の委員会があったとあります。読んでみると、浜田港の課題と課題に対する対応策が書いてあり、このように書いてあればどんな課題が出てどんな対策かと思えますし、今申されたことが対策になっているのか、

確認をしたいと思います。あと委員会名簿について、これはこちらに言っても仕方ないのですが、地元の方があまりおられないのが不気味に思いますし、当然浜田の中村部長さんらが入ってもおかしくないとは思いますが。その辺はどうなのかなど。これは県のことなのでどうか分かりませんが、少し疑問に思いました。

産業政策課長

第1点目、浜田港の課題ということですが3ページをご覧ください。これは概要版でして正式版が別にあります。3ページの(3)浜田港への要請ということで、港湾漁場の課題、そこに7項目掲載しています。

それと地元の方が入っていない件については、別途下部組織で幹事会があります。

笹田委員長
産業経済部長

産業経済部長。

課題については3ページに要約ですが、各方面から色んな意見を拝聴して掲げているエッセンスがここに書いてあります。かなり具体的な課題です、放置艇をどうするのか、ここをどうするのか、一つ一つに具体的な課題を設けてその解決に向けてやっている所です。

それから地元の件ですが、大きな長期構想の分は14ページに書いてありますが、これに対しては市長以下、浜田のJF、こちらの利用促進をされている企業の方に入っています。それからその下の、15ページのスケジュールの所で、1月29日に幹事会とありますが、幹事会に、より地元に着した者の意見を吸収するというので入れさせていただいており、浜田市からも私と都市建設部長様にも入っています。意見を申させていただきます。地元の利用者の意見を吸収し、ご意見を申していきたいと考えています。

笹田委員長

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(4) はまだ産業振興機構 活動実績について

笹田委員長
産業振興課長
笹田委員長
串崎委員

執行部から説明をお願いします。産業振興課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。

小売業の下の内訳があります。その他が670万、平成27年570万。飲食業の方も平成27年度を見ると510万。結構金額が大きいですが、これは何かなと思いましたが。それと、これは何人体制で回っているのかと思います。

産業振興課長

職員については係長並びに職員2名の4名体制となっています。一応関東・関西・東海を回っています。基本的には特に新規の所でもあるんですが、大きな販路の拡大ということで高級百貨店関係をターゲットに活動が入った時に、販路が増える状況もあって金額的にも多くなっていることもありますし、特に浜田は水産加工の知名度がかなり上がっています。水産加工に関してはまず先に話が出てきますので、それらを中心にしながら農産関係も含めて対応させていただいているのが実情です。

飽くまでも商品リストというカタログ、バイヤーズガイドを我々作っていますが、それをもとにした資料提供を行って活動を行っているところ

笹田委員長
産業振興課長
笹田委員長
産業振興課長

ろです。

課長、ここの分野別一覧一番下のその他の……。

46万の所ですね。

ではなくて、572万3000円の所とその下の……。

すみません、これは先ほどバイヤーズガイドの話をさせていただきましたが、ここで表している所については、水産と農産・食肉がありますが、それ以外に生花・日配・グロッサリー・菓子・民工芸品・酒等々ありますので、それらを合わせてその他として括っています。

先ほど申し上げたように、その中でも特に民工芸品が文化的云々というのもあるのですが、かなり色んな角度で皆さん研究されて商品開発をされて打って出ていることもあり、26年度については32万程度の金額でしたが、約6倍程度にはなっているので、これも今後期待できると思っています。

笹田委員長

よろしいですか。その他ないでしょうか。

(「なし」という声あり)

1時間を過ぎましたので、50分まで休憩したいと思います。

[11時 44分 休憩]

[11時 50分 再開]

笹田委員長

それでは調査会を再開いたします。

(5) ふるさと寄附について

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。ふるさと寄附推進室長。

ふるさと寄附推進室長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。

飛野委員

今、議会報告会の最中です。その席でふるさと寄附について話が出ました。非常に良い評価が期待されている内容でした。議会報告会で出された要望や不明点は執行部にしっかり伝えておきますという形で展開していますが、その中で出て来たのが、お金が分かるように特別会計的なことをしておくべきだという意見、それから使い道はどうなるのかにかなり興味を持っておられました。おうかがいしたいのは、他市町とのコラボは果たしてどうなのか。その部分がどうしても解せない。市内並びにせめて県内であるべきだと。折角の出鼻をくじくような話ですが、市民からそういう意見も出ると思っています。コラボによって実際にどのような効果があり、市民へどうアピールするのかお聞きします。

ふるさと寄附推進室長

いまの質問ですが、考え方としては今回文化交流協定というのがまずありまして、松阪市の代表ブランド、浜田のブランド的なものということで。両市がただ文化交流の中で協定するのではなく色んな面において経済交流も含めて包括的にやる部分もあるので、この中の一つとしてももちろん今からはふるさと寄附を発信として産業的な交流もかなり多くやっついていかねばならないと思っています。基本的に数字データだけで捉えていて申し訳ないが、実際にこれをやることによって浜田市と松阪市の申し込み状況は浜田市の方がかなり上の数を貰っていますし、浜田の魚

等々を含めて販売店さんにとってみると魅力ある所を出ささせていただいており、企業の強化にはなっています。どちらが得かの話は言いませんけど、お互いのメリットを利用させていただき、より全国への浜田市を売っていくチャンスでもありますので、今回特にふるさとチョイスの中でもトップページに記載され、その中で寄附も含めて浜田市をもっと知ろうということで、松阪市からも問合せがあったりしていますので、そういう効果はあるのかなと思っています。

飛野委員

よく分かりました。しかし市民の目から交流することによっての部分でなかなか見えて来ないものがあるかと思います。親切に、あることに付け加えてアピールをしていく必要がある。コラボすることでの良いことをお願いします。

布施委員

私も委員外からふるさと寄附のそういう質問を聞いていました。要するに熊本震災があって紙面上で今言われていることが、本来のふるさと寄附の根本たる考えから始まった部分を再度見直して、返礼品合戦ではなく目的に合った物をしっかりPRすべきだという願いがあるわけです。しかしながら大きな浄財となって浜田市の場合は市長が会見して新聞で発表されていましたが、財源として見るのかそれとも飽くまで特別会計のような形で入口と出口を明確にして分かり易く、あなたの寄附はこういう目的で使われていますよということをしつかり訴えれば、永久的に寄附していただける人が増えるのではないかと。一過性に終わってはいけないと思っています。浜田市は確かに4年連続ベスト10に入って、色々なメディアに取り上げられて注目はされていますが、本来の目的に合ったものを、今5つになっていますがしつかり寄附してもらった方へ使い道を明確にする、そして新たなステップアップしていくのが大事だと思います。その辺の考え方についてのもものを持っておられると思いますが、その辺の考え方はどのように今から構築されるおつもりでしょうか。

ふるさと寄附推進室

長 布施委員の言われることはもっともだと思います。そもそもふるさと寄附は今言われるようなことが内容だろうと思うし、総務省も言っていますが返礼品の問題も、今回も規制がありましたから重々存じ上げています。今もそうですが、使い道をもっと明確にしないといけないのが今年度の目標です。そのために今そういう取り組みを含めての検討を市長から命令されているので、それも含めて今年度の早い段階で示せるようにしたいと思っています。同時に、寄付をされた皆さんに対してもPRになるかは分かりませんが、使い道について「こういうことをやってこのようになりました」ということを何とか訴えていける形で出していこうと考えています。

布施委員

よろしくお願いします。もう一つ、20億の寄附があったことはよく聞きますが、寄付されたお金がどのように使われるのか市民が知らないということをよく言われます。情報発信として市民にも、全国からこういった寄附が20億集まります、金額ではなくこういうことに使っていると、市民の方に広報してくださることが大事だと思っています。よろしくお願いします。

笹田委員長

その他ありますか。

原田委員

ふるさと寄附そのものではなく、特産品の松阪牛とのどぐろ最強コラボ

ポの返礼品として出していくことについての意見は私も若干聞かせていただきました。というのは、松阪牛というのは全国的に知名度の高い名産品ですが、ただ、浜田市において島根ポークさんもおられるし益田の業者さんもおられるし、あるいはまた弥栄の畜産の方もおられますし、そうしたものを除けておいて何故、全国的に名が通っているから良いよというようなことで出していかれると思うんですが、その辺の連携をもうちょっと取ってもらわないと、我々は一体何をしているのかと。自分らも期待していたんですよと。今までも使っていたいていました、けどこのように変わっていくなら、もう特産品という浜田にあるもの自体が駄目になっていくじゃないかと。その辺をもうちょっと考えて執行部の方もやってもらわないと。松阪牛との付き合いはずっとではないと思いますが、生産者の方はすごくこの点について思っておられます。その辺をどのように考えておられるのか聞いておきたいと思います。

ふるさと寄附推進室長 委員さんの言われることはもっともだと思います。今回はたまたま松阪市との交流協定の中でのとっかかりとして広告を打ってまいりましたが、実はそれと同時に浜田市全体を見ていただける回数も増えているのが実情です。それによって、浜田はのどぐろに特化するような形の生物もあれば、開き物もあるということが一番になっています。二番目が島根ポーク関係です。これらの売上もまた上がっています。当初の考え方では相乗効果という形で、浜田市を知ってもらえばより浜田市のページを見ていただく機会が増え、より生産者も良いという考えがありました。平成28年度に浜田市ふるさと寄附の関係の企業連携会という、企業さん独自でやられる連携会というのが出来ました。その中での議論で決まった内容も一部こちらに入ってきている状況もあります。70、80の企業がありますから色んな形にお答え出来ないのかと思いますが、今後注意させてもらい、浜田の全企業さんが何とか取り扱いが出来る形で頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

牛尾博美委員 企業連携会が出来たことは非常に良いと思います。内容というか経過と現状を教えてください。

ふるさと寄附推進室長 企業連携会が27年度にも色んな要望がある中で、企業間同士で何とか、ふるさと寄附に対して自分たち自らがPR出来ないかということ、それともう一つは、単発商品ではなく新たな商品開発も含めた横の連携をもっと持って良い物を浜田市から出していこうという会です。それで執行部の幹事並びに会員さん等々もおられますが、ここ4月以降で2回ばかり役員会・幹事会というのがあり、来週には全体会を行うと聞いています。もちろん浜田市としても顧問等々も含めて参加させていただいていますが、飽くまでも主体は企業という形の活動です。特に平成28年度の所で色んな感謝祭等々が行われる予定になっていますが、浜田市としても対応してまいりますが、基本的には企業さんが自分たちの力で何とか自分たちのまちに良い物があることを出していきたいという思いの会ですので、そこが中心になって行う予定となっています。

牛尾博美委員 今ふるさと納税に参加されている浜田市内のあらゆる業者さん全部集まるのがベストだと思っていますが、その中で新製品開発や連携を取ること、これから先浜田市の業者さんが活性化する面では本当に素晴ら

しいことだと思っています。

ここでもう一つ、商工会議所についてはどういう関連があるのか、そういう所との連携はどうなっているのか分かりますか。

ふるさと寄附推進室長 基本的に商工会議所加入の店舗が多々ある関係もありますから、大きな動きはふるさと寄附推進室が中心に行っています。商工会議所が直接関与する部分は今はありませんが、企業連携の構成上、スタッフさんが入ってこられて意見交換をさせてもらっているのが実情です。委員さん言われますように、商工会議所・商工会も含めた所で全体で物事を考えていかないといけないのかなと感じています。

牛尾博美委員

先ほども布施委員が言われましたが、10万人あまりの寄附者がいらっしゃってそういう方々は良い品を得るだけでなく、5つの項目の中を選ばれていますので、ある所ではふるさと納税の寄附金を保育所の保育料低減するために回したと。ふるさと納税を自分らの企画の中に取り入れて子育て家庭を守ったり、料金を安くするというところに回したと聞いています。10万件の人達に対して、全面に出すのは「歳入で儲けさせていただきました」ということよりも、むしろ「皆さまの大切な寄附金をしっかり浜田市のために使わせていただきます」ということをもっと前面に出すべきだと思っています。それが寄附された方への恩返し、感謝だと思っています。

もう一つは、その10万人の方に対してお礼を出して良いのか分かりませんが、リピーターになっていただけるような行動に移しているかどうか、その辺の実情を教えてくださいませんか。浜田の応援団としての。

ふるさと寄附推進室長 牛尾委員さんが言われるように、使い道の所については今後一番大切だと考えています。特に浜田市においてもこれだけのものをいただいたので、では何に使うのかという問題については明確にしていきたいと考えています。それと、10万人程度の方から寄附していただきましたが、金額が高額になる件についてはしっかりしたお礼と同時に色んな案内を出すようにしていますが、全部が全部は徹底していません。特に今年度は色んなチラシを使ってお礼と浜田市の紹介も含めてフォローをやっていく計画にしています。少し遅れていますが早急に対応したいと考えています。

牛尾博美委員

それは本当に大事なことです。私は山陰中央新報の記事を見た時、財源だというのは総務省や財政の部分が言うことであって、やはり皆さんの寄附を浜田のために大事に大切にに使わせていただきますということを前面に出すべきだと思う。もう一つ大事なものは、浜田の業者さんが活性化することです。こちらにもしっかり目を向けて。財源は後でついてくることだから、それを前面に出すのではなく、浜田の施策に皆さんが寄附されたお金を有効に使っていきますというのを全面に出してもらって、最後に財源の話になるのだろうけど。そこを変な形でやってしまうと寄附した人からボイコットを食らうような気も、しないでもないと僕は思っています。その辺の考えや方向がもしあれば伺います。

ふるさと寄附推進室長 委員のおっしゃるとおりです。ふるさとチョイスをご覧いただくと分かると思いますが、今、どういう形で役に立ちましたというような内容が前に出ているのがほとんどです。たまたま震災関係があるのでそれ

が一面に来ますけど、それ以外については最近特に増えている状況です。それらも含めて、実は最近短時間の動画でまちを紹介したりして、その中でこういう使い道をやっているという。住民が入られて笑顔でお礼の動画等もあります。これも28年度に早急に組み込む内容として検討中です。

また最終的には、これをやることによって企業さんに力をつけて貰わなければいけない。これは先ほど報告しましたが、産業振興機構がやっている内容と結果的には同じ内容だろうと思います。ただ、ふるさと寄附についてはそもそもエンドユーザーが最終出口である、ただ振興機構がやっている営業活動については間にバイヤーや百貨店があったりとか、色んなニーズがある所に対しての対応商品をやっていく。最終的には商品のブラッシュアップも含めて、企業さんが責任を持ってやらないといけないことですから、そういう面においては産業振興機構と一緒に頑張ってほしいと思っています。

牛尾昭委員

平成24年か25年に我々が松阪市へ訪問して、松阪市主催でブランドサミットをやっておられることが分かり、当時宇津さんの時代でしたが、松阪の名前を借りて浜田産品を売り込むべきではないかとサミットへ参加してもらって、去年だったか脱退をされたということで。直前の正副委員長と私とでおかしいではないかと申し上げました。我々当時考えていたのは、こういうコラボなんです。松阪の名前を借りて浜田の物を売り込むということで、私は今回の企画は逆に言えば遅かったと。市長よく勇気をもっておやりになったなと実は評価しています。これはどんどん広げていけば良いことだろう。ただ心配しているのが、例えば道の駅が第3の流通経路だと言われている時代においては、私はふるさと納税は第4の流通経路だと思っています。しかも公が前面に出ているから安心度が高いということで、どんどんお客さんも増えている。私が今回の例で感じたのが、1年半以上前に業者さんとの勉強会の中で、島根和牛とのどぐろをコラボしたらどうかという提案をされたんですが却下された。それは古い話でもう終わったことですが、今後は業者が知恵を出している時にそれを受け止める度量がないと。色んな話を聞くと、業者が提案しても「それはあそこぶつかるから駄目だ」とか「他とのバランスを考えて欲しい」とかいう注文も市がされるそうです。業者にすれば中間マージンがないから出来るだけ自分の企業を売り込むために、これに賭ける部分があるわけです。そういう努力を、バランスが取れないからということも言われるという話を聞いています。全体がそうではないと思うけど。各事業者が第4の流通経路で頑張ろうという時に、これは駄目あれば駄目ということをして市役所が言うべきではないと思います。そうしないとこれそのものが尻すぼみになっていくと思います。全員に注意して欲しいと僕は思います。

話を元へ戻しますが、今回遅ればせながら市長が友好交流都市とコラボしたということは大いに評価しています。色々ご意見あるかもしれないけど前を向いて行くしかないの、そういう方には議員がしっかり説明していくことが大事だろうと思っています。色々ご批判があっても怯むことなく、自主財源の確保に精錬して欲しいと思います。答弁があれ

ばいただきます。

ふるさと寄附推進室長 牛尾委員が言われたとおりです。一応制限はないのですが、色々と皆さんがコラボされる商品とか、並びに今回は企業連携会が出来たので、企業連携会としてこういうものを出していきたいという要望がありますので、それも含めてこちらから制限するつもりは全くございません。一応審査会はありますが、その時期に合った形で最大限の取り組みをしたいと思います。よろしくをお願いします。

笹田委員長

他にありますか。課長の答弁を聞いていますと、遅れていますとかやっている最中ですという答弁が多いですが、今ふるさと寄附は市民の方も議員も前向きに捉えていますので、早急に市民に対する使い道や牛尾委員が言われたコラボのこと等、時間が遅くなるとお金も失ってしまう可能性もありますので、しっかり早めにやっていただきたいと思います。

(6) 広島市場開拓室活動実績について

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。広島市場開拓室長。

広島市場開拓室長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(7) 漁業別水揚げについて

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。水産振興課長。

水産振興課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。

串崎委員

昨年より33パーセント、大変素晴らしい実績のように感じますが、昨年は一応47億ということですからかなり少ない水準なので当たり前と言えたり前かもしれない。私いつも言っていますが、平成28年度の目標数値です、60億を目指すなら棒グラフに目標数値を入れていただきたいと思います。そうしないとこの表だけ見れば頑張っているような錯覚を起こしますので。60億にするなら今までの事例で60億程のものがあると思います。その数字でも良いので一応入れていただくとか。28年度の目標の数字を、はっきりしたものがあるべきだろうと私は思います。

水産振興課長

目標値の計算については以前から串崎委員からご質問をいただいています。魚の水揚げは自然状況他色んなことが影響しており、実際に栽培してそれを収穫する農業とは違う所もありまして。漁場形成とか色んな要素があります。ただ、おっしゃるような例えば過去に60億を水揚げした年度が参考・目標になるものとも考えていますので、検討させていただければと思います。

串崎委員

出来ればこの棒グラフを3本にさせていただきたいと思います。一応市長も数字、金額で言っておられますので、金額は金額で示すべきだろうと思いますので、是非ともお願いします。

笹田委員長

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

前々からそういう意見がありますので、出来れば考慮していただいて。

僕は水産の人間なので難しいのは重々分かっていますが、100億円という難しいことをおっしゃったわけなので、しっかり分かりやすいグラフを。検討検討と言いますが、次からは是非お願いしたいと思います。串崎委員よろしいですか。

串崎委員
原田委員

はい。

水産には関係ないですが話が出たので言います。前も話があったと思いますが、いわゆる農産物の生産高や売上金額を出すべきではないかという話が一時出ていたと思うのですが、また最近出なくなりました。これ特に今、青空市場であるとか J Aでもやっておられるし支所でもやっておられます。色んな所のデータがあると思います。例えば今月なら今月どれくらい農産物の販売があるのかの把握も出来ません。そういうことも前から話が出ているので、続けてやっていただきたいと思います。なかなか農産物の取扱いは掴みにくいと思います。J Aが取り扱う部分とそうでない個人で出される分もあるので辛いとは思いますが、出来るだけ近い数字を出していただきたいと思います。

産業経済部長

ごもっともです。なかなか掴みづらい部分があるのも事実ですが、聞き取れる範囲の数字をまとめて、次回の委員会でお示しさせていただければと思います。

笹田委員長

それではよろしくお願いします。他にありませんか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(8) 三重県松阪市との“駅鈴協定”の締結について

笹田委員長
観光交流課長
笹田委員長
牛尾博美委員

執行部から説明をお願いします。観光交流課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。

やっと結ばれたという感じ、しかし良くやっていただいた、しっかり頑張っていたいただきたいと思います。これから国内各市と色々な人・物、様々な交流があるということは、お互いに人脈が出来る、刺激を得るを与える、そういう面で浜田市にとって非常に有効な締結ではないかと思っています。これからはスタートだと思いますが、浜田市民への周知やPRを続けてやっていただきたいと要望しておきます。答弁は不要です。

牛尾昭委員

今年は我々浜田藩の関係で今月終わりには福島棚倉町へ行きますが、秋には松井松平の関係で川越藩の関係者がお見えになります。松井松平の関係で言えばここに書いてあるように、12代の康貞は松井松平の直系のお殿様ということです。私前回は申し上げましたが、松阪の方がお見えになる際に宿泊助成があるではないですか。開府400年に向けて浜田に縁のある方をお迎えする時は一定の条件を付けて、交流都市協定をしたから松阪はOKだけど他の所は違うよ、というのではなく、もう少しおおらかなものを作られるべきではないかと。松阪からお見えになった方はそういうものがあるということは、他の方も風聞してご存知だと思います。そうすると、我々にはないのかなということ、開府400年にお出かけいただきたいと我々が訪問先で要請する際にかえって足かせになるのではないかとと思うので、少しおおらかに、たいした金額ではないので、

お迎えするという観点からすれば少し拡大解釈していただき、今年の秋にお見えになるまでにそういう制度を是非お作りいただきたいと思いますがどうでしょうか。

観光交流課長

ご指摘もごもっともだと思いますが、今回松阪市との観光文化交流協定を締結したということで、今後の交流促進を図っていくために宿泊助成という制度を作りました。それをもっと幅広く、開府400年までを見据えた視野の中で浜田藩の関係団体への助成についてのご検討ということですが、現状としてはご意見も踏まえながら内部でも検討を進めたいと思っていますので、ご理解をお願いします。

牛尾昭委員

合宿誘致事業とかコンベンション誘致事業をやっていますね、交流人口拡大のために。だからそんなに難しく考えることないと思います。久保田市長は即決即断の男ですから、批判もあるけど僕は評価しています。だからこの案件を上に乗せて貰って、こんなことで時間かかります考えさせて欲しいというような答弁を聞いている時間はないと思います。人を呼び込むためには。是非、部長にも汗をかいていただくようお願いします。

笹田委員長

その他何かありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(9) 美又温泉国民保養センターについて

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。金城支所産業建設課長。

金城産業建設課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。

原田委員

4番の地域おこし協力隊についてお聞きします。これは金城に限らず各自治区に入っておられますが、地域協力隊にはかなりの税金を注ぎ込んでやっておられるわけですね。私が思うだけなのかもしれませんが、協力隊を入れたことでどういう実績が上がっているのか、その辺がよく見えないんですよ。ただイベントに参加したりという感じで、この人が来られてこういう事業が始まったとか、これ低調だったけどあの人の指導力でここまで伸びてきた、そういったことが見えないような気がします。執行部はどう感じておられるのか、分かる範囲で回答をいただきます。

金城支所長

金城の状況についてのみ私から説明させていただきます。ここで報告させていただいた産直ですが、これは協力隊の発案で地元と一緒に作り上げており、これは非常に評価しています。基本的に金城については美又地区に限って美又再生のために地域おこし協力隊の力を入れようと言うことで基金を投入し3年間在町していただいています。こうして630万あまりの売上も出たということで、数字をお示しながらその辺の評価については報告させていただきたいと思っています。

元々このように地域を活性化して欲しいということで募集しましたので、野菜とれとれ市とか、ご本人さんの特技を活かしたPR活動もされています。また非常に残念ではありましたが2月で終わりました、建設中の足湯の活用についても3月の当委員会からもご指摘いただきましたので、

道路向かいの商店さんを利用してカフェのようなことも実は取り組んでいた最中に本人が体調を崩されて止まっている状況です。そのように地域の中に溶け込んで活動している状況です。

旭支所長

旭支所においても地域おこし協力隊が1名入ってくれています。男性ですが、旧木田小学校の活用についてをミッションにして今年3年目の取り組みをしてきています。ほぼ木田小学校へ常駐してくれていますし、色々な見学に来られた方への対応、あるいは各実行委員会でのイベント企画や、色々な手配等を率先してやってくれています。あとはプライベート上ではありますが、地域おこし協力隊同士で結婚されて旭町内に住んでおられまして、木田の山之内地区という所ですが、全く周りに民家のない本当に一軒家の所へ2人で住んでくれています。彼は地元の神楽社中、消防団、猟友会、鉄砲の資格も取ってくれまして、今人材不足と言われる分野にも率先して関わってくれているということで、公私共に地域にとっては無くてはならない存在になりつつある状況で頑張ってくれています。

産業経済部長

金城支所と旭、それぞれいらっしゃる状況だと。浜田の中で現在地域おこし協力隊、昨年度からゆうひパーク浜田に1人おられます。オリゾンテという2階のフランス料理店を軸に地域のために料理の見習い等をやっていたとすることで活躍いただいています。

あと観光関係ですが、ツーリズム協議会で地域を巻き込んでやっていただける元気な方を現在募集中です。これは応募があり次第面接して採用したいと考えています。

各自治区ともそういう思いがありますが、原田委員がおっしゃった実際の成果が目に見えないじゃないかというのも重々分かりますので、今後色々な活躍をされている方の紹介やPR方法を、各自治区の方ともご相談させていただければと思っています。よろしくお願いします。

笹田委員長

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(10) 市道路線等の現地視察について

笹田委員長

これについては午前中に終了していますので次へまいります。

(11) その他

笹田委員長

その他で、君市踏切の計画について1件入っていますので、建設整備課長お願いします。

建設整備課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。

布施委員

この件については3月議会から陳情が出ており、継続審査になっています。陳情内容をご存知だと思います。地元説明会を早急に開いて図案を示すべきだということなんですが、この調査会で示された案の部分についての地元説明会の時系列の開催とか、そういった日程は考えておられますか。それに合わせて我々は6月定例会にて、2つの定例会を挟んで継続審査するという事は、陳情者に対しても失礼になりますので、その

建設整備課長

辺を併せて計画をお聞きしたいと思いますが、どのような計画をされていますか。

地元説明会を昨年7月末に1回行っていきます。その時の説明会の中でも、その時はどうも1案を示して説明していますので、他には案が無いのかと言われましたので、今回はこの4案を示しながら、また渋滞時のシミュレーションということで、どこまで滞留するだろうかということも伺っていますので、そういった説明をしながら浜田市の計画を示していきたいと思っています。まだ説明会の日時については調整しておりませんが、なるべく早く行いたいと思っています。

議会の方で継続審査になっているとのことですが、これからまず全協でも説明したりしてまいりたいと思っています。

笹田委員長

その他ありませんか。

(「なし」という声あり)

執行部から他にありますか。

(「ありません」という声あり)

以上で報告については終了いたします。

では全員協議会に提出すべきもの、資料配布のみとすべきもの、提出の必要がないものの決定をしたいと思います。

- (1) 提出不要
- (2) 説明あり
- (3) 説明あり
- (4) 資料のみ
- (5) 説明あり
- (6) 資料のみ
- (7) 説明あり
- (8) 資料のみ
- (9) 資料のみ
- (10) 提出不要
- (11) 説明あり

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

はい。以上で議題1は終わりたいと思います。

2. その他

笹田委員長

その他で何かありますか。委員の皆さん何かありますか。

(「なし」という声あり)

執行部の皆さん何かありますか。

(「ありません」という声あり)

ないようなので、執行部の皆さんはご退席されて結構です。お昼を過ぎて大変申し訳ございません、ご協力ありがとうございました。

《 執行部退席 》

|

[12 時 56 分 閉議]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

産業建設委員長 笹田 卓 ⑩